

第一薬科大学後援会北九州支部総会報告

北九州支部長 田代理佐

【日時】令和5年8月6日（日）10時～12時

【場所】TKP 小倉駅前カンファレンスセンター8階

【出席者】保護者13名、学生6名、本部役員2名、事務長

大学より小山教授、薬学ゼミナールより松本先生をお招きし、北九州市小倉北区で開催しました。

はじめに北九州支部の活動内容を報告し、本部より出席くださった2名の役員と事務長を紹介しました。次に2名の先生による講演が行われました。講演終了後に質疑応答の時間を設けました。

《 講演1 薬学部長 小山教授 ～薬学部の現状～ 》

- 108回薬剤師国家試験は、難易度が下がり平均点が高くなった。厚生労働省が、薬剤師総数をコントロールするということに力を入れているようで、基準点を超えているから合格とはいかなくなった。
- 卒業試験と国家試験の難易度については、試験内容を精査しほぼ一致するようにしている。卒業試験が難しいという声をきくが国家試験に準じたレベルである。
- 後援会からの補助がある登録販売者試験（難易度は1～3年生までの受講内容、合格者は4年次研究室配属選抜に多少有利になる）やWeb問題集の活用で自己研磨するのもよい。
- 大学ホームページから「薬学部国試対策」の動画が視聴できるので活用してほしい。
- マインドセットをしっかりと持ち、土日問わず最後まであきらめずに毎日勉強を続けていく必要がある。まずは出席率アップを心がけるように。

《講演2 薬学ゼミナール 松本先生 ～薬剤師国家試験合格に向けて～ 》

- コアカリキュラムの改訂により、薬剤師に求められる資質や能力が、より臨床分野寄りになっている。
 - 基礎学力（物理、生物、化学）がとても大事であり土台となるため、低学年のうちからきちんと習得するように。
 - 実務実習で体験してほしい8疾患（がん、高血圧症、糖尿病、心疾患、脳血管障害、精神神経系疾患、免疫アレルギー疾患、感染症）の病態や薬の相互作用等、完璧！を目指してほしい。
 - 年3回実施している全国統一模擬試験の受験で、相対的な順位や実力が把握でき、出題傾向がわかるため、是非、有効活用をしてほしい。
 - 留年を避けるためには、能動的に授業に参加し、復習のパターンを身に着けるとよい。
- （重要カ所をつかむ→調べて理解する→覚えなおす→問題を解き、自分で説明できる）

《 質疑応答 》

Q.卒業試験の難易度は

A. (小山教授) 複合問題や実践問題の一題が長文になってしまい、問題の質にバラツキがでるという懸念があるようだ。問題作成している実務実習系の先生方がストック問題を集めており、その問題の中からアレンジ作成し、全体の難易度が大きく変化しないように工夫している。また、国家試験難易度との大きなズレもない。

Q.国家試験にストレート合格するための、今日から始められる生活改善は

A. (松本先生) 習慣化するということがとても大事である。例えば、寝る前 40 分間薬物名を覚えて寝る→朝起きて覚えた薬物名の見直しをする。つまり、寝る前にやること&朝一にやることを決め、毎日やらないと気持ち悪いと思えば大成功！

Q.国家試験のマークシートの解答について、分かる問題分からない問題の見極めや、解答欄を正確に埋めるためのコツは

A. (松本先生) 図形・実験・計算の問題は後回しにしている学生が多いようだ。時間配分を考え、ややこしそうな問題は後で解答するのは良いでしょう。飛ばした問題の解答欄を薄くカッコしておく等の工夫も必要か。

Q. (遠方からの通学者より) 休校になる際、早めに e ポートフォリオにあげてもらえないか

A. (前田事務長) 西鉄電車と JR が運休の場合は、休校としている。オンライン授業への切り替えということもあるので、8 時までの掲載をしているがなるべく早めの掲載を心がける。大学への問い合わせも可能である。

●まとめ●

今年は開催会場を変え、そして支部長初任務だったため、不安や心配が多々ありました。多少ハプニングが発生しましたが、代議員の森さん、支部手伝いの有馬さんのお力添えがあり無事終了することができました。来年度は懇親会を検討しており、より良い支部総会にしたいと思っております。

今後とも、支部活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。